



クスノキ



豊中市立第十四中学校
 学校だより
 令和5年(2023年)
 12月12日
 発行責任:校長 石井 武

れいわ ぜんこくがくりょく がくしゅうじょうきょうちょうさ
★令和5年度(2023年度)「全国学力・学習状況調査」

ほんこう けっかがいよう
本校における結果概要について

今年4月、3年生を対象に実施された「全国学力・学習状況調査」に
 関して、本校における結果分析や課題等をまとめました。

生徒のみなさんが、それぞれの強みや課題を把握し、しっかり自分と向
 き合いながら学力向上に努め、生きる力を育みながら夢や目標を
 めざしてくれることを期待しています。



ねも かだい
◆教科における主な課題

国語：文章を読んで理解したことなどを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりする学習

数学：データの分布の傾向を比較して読み取り、判断の理由を説明する学習

英語：読んだことを基に、自分の考えとその理由を書く学習

などについて、特に課題があることがわかりました。

また、日々の授業の集中力や学ぶ意欲の向上、提出物の徹底や家庭学習習慣の定着、学習目標の明確化など、基礎基本を大事にした取り組みが学力向上につながっていくと考えられます。



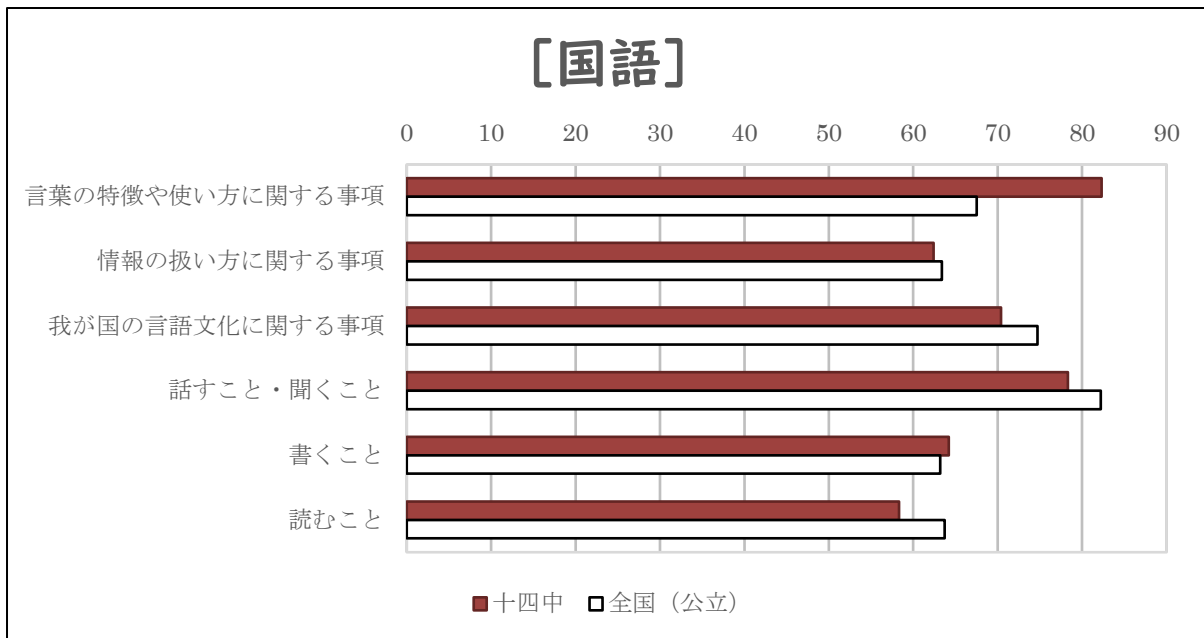
がっこう こんご
◆学校として、今後に向けて・・・

●日々の授業や学校・学年行事、学級活動や生徒会活動などの取り組みを通して、生徒の自尊感情を豊かに育み、お互いを認め合い、高め合い、支え合える集団づくりをベースとして、確かな学力の向上と生きる力の育成に努めていきます。

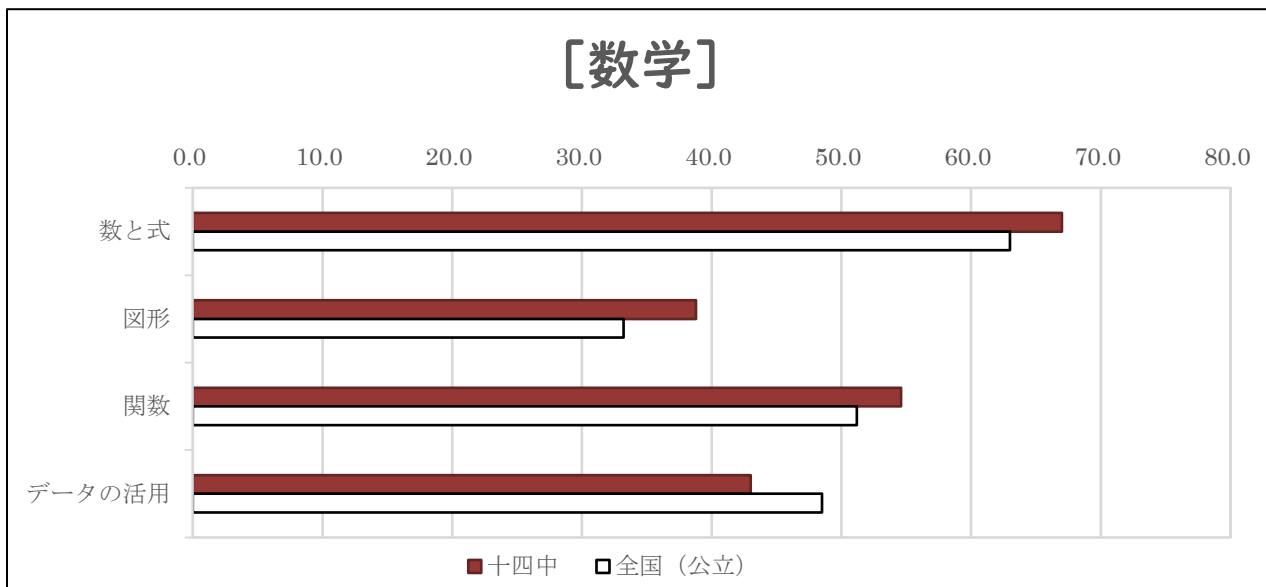
●学力向上に向けて、一人一台タブレットなどICT機器を効果的に活用しながら、主体的・対話的で深い学びとなるよう指導方法の工夫改善に努め、子どもたちが意欲的に参加し、知識・技能や思考力・判断力・表現力を養う授業づくりを通して、個別最適で協働的な学びをさらに進めていきます。



きょうか がいよう
【1】教科に関わる結果の概要



- ◎全国平均正答率と比較した場合、「言葉の特徴や使い方に関する事項」では、良好な数値を示していますが、「読むこと」に関する領域に課題があることが伺えます。
- 「言葉の特徴や使い方に関する事項」の領域では、(問題番号2の一) 事象や行為、心情を表す語句について理解することはできています。
- 「話すこと・聞くこと」の領域では、(問題番号1の一) 目的や場面に応じて質問する内容を検討することはできています。
- 「読むこと」の領域では、(問題番号4の三) 文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えることに課題があります。

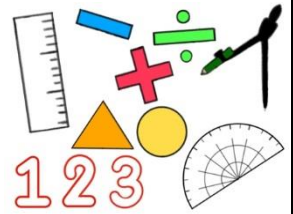


◎全国平均正答率と比較した場合、「数と式」に関する領域は良好ですが、「データの活用」に関する領域では、課題があることが伺えます。

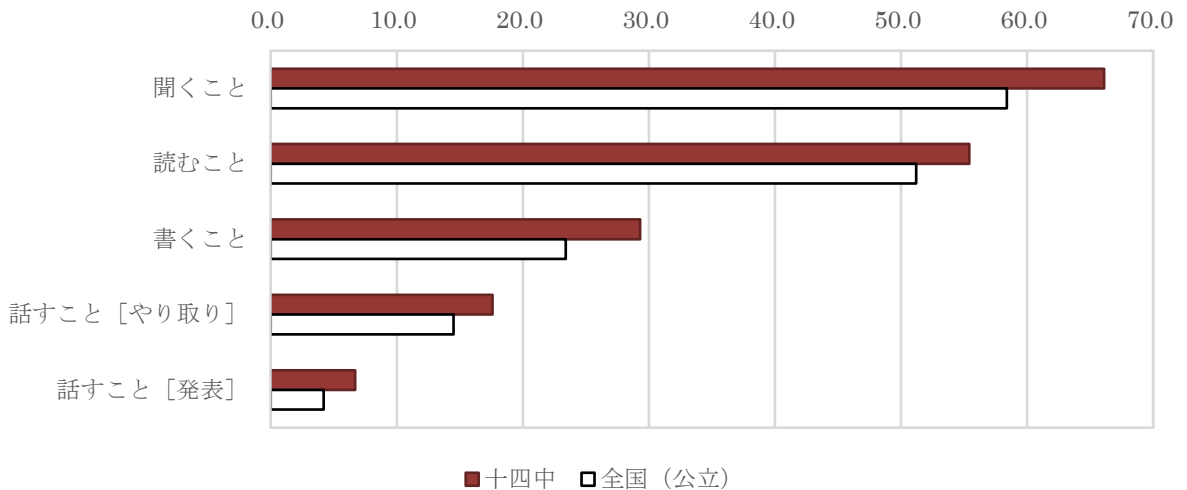
○「数と式」の領域では、(問題番号2) 数と整数の乗法の計算をすることや、(問題番号6(1)) 問題場面における考察の対象を明確に捉えることはできています。

○「図形」の領域では、(問題番号9(1)) ある事柄が成り立つことを、構想に基づいて証明することに課題があります。

○「データの活用」の領域では、(問題番号7(2)) 複数の集団のデータの分布の傾向を比較して捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することに課題があります。



[英語]



◎全国平均正答率と比較した場合、すべての領域にわたって良好な傾向が伺えます。

○「読むこと」の領域では、(問題番号5(2)) 事実と考えを区別して読むことや、(問題番号7(1)) 日常的话题について、文と文との関係を正確に読み取ることはできています。

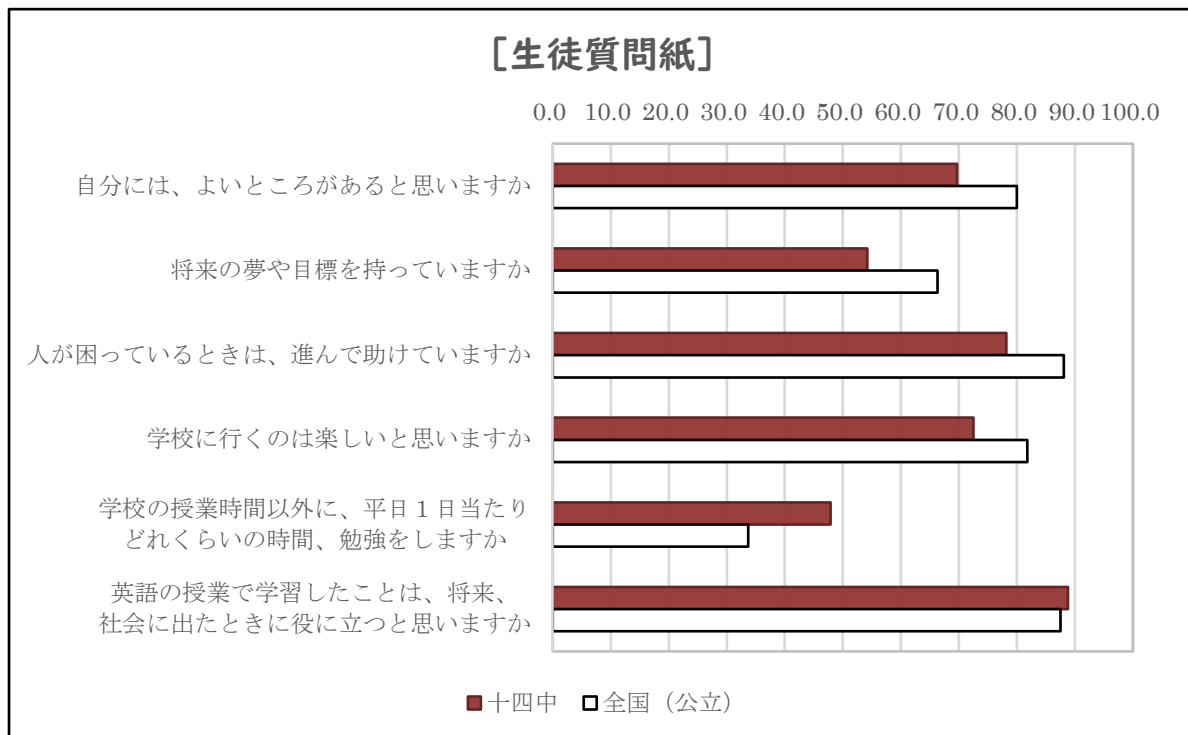
○「書くこと」の領域では、(問題番号10) 日常的话题について事実や自分の考えなどを整理し、まとまりのある文章を書くことについて、課題があります。

○「話すこと」の領域では、(問題番号2) 社会的な話題に関して聞いたことについて、考えとその理由を話すことに課題があります。



【2】生徒質問紙調査から見られる特色

次のグラフは生徒質問紙調査の項目について、肯定的意見（「当てはまる」・「どちらかといえば当てはまる」の合計）を全国と比較したもののうち、特徴的なものをまとめたものです。



○家庭学習にかける時間や教科学習に関わる質問に関しては、全国より高い数値を示しており、学習面についての意識の高さを伺うことができます。

○一方、自己肯定感や将来に向けた目標設定、学校や家庭・地域生活に関わる質問、倫理観や人権意識に関わる質問については、ほとんどの項目において肯定的意見が全国を下回っており、学校生活の充実や豊かな心を育む取り組みの推進が大きな課題であると考えられます。

